

水の 話

FujiClean NEWS

2020
Summer

No. 188

[特集]

豪雨から都市を守る 治水施設。

台風19号から考える災害国家の都市洪水対策

[フジクリーンレポート]

14年ぶりの浄化槽法改正により、
合併浄化槽への転換と浄化槽管理の強化を促進。

豪雨から都市を守る治水施設。



台風19号から考える災害国家の都市洪水対策

2019年10月、関東圏を襲い各地に甚大な被害をもたらした台風19号。その傷跡は大きく、改めて水の脅威を私たちに印象づけました。災害国家と呼ばれる日本において、いかなる対策や備えが必要なのか、台風19号でのさまざまな事例を振り返りながら、考えていきたいと思えます。

DATA

令和元年東日本台風(台風19号)
2019年10月12日午後7時前に伊豆半島に上陸。静岡県や関東甲信越地方、東北地方を中心に広い範囲で記録的な大雨となり、全国142カ所で堤防が決壊し、死者99名、行方不明者3名、家屋の全半壊等28,079棟、住家浸水37,289棟(消防庁2019年12/12 15:00現在)の極めて甚大な被害が発生した。
※水害レポート2019(国土交通省 水管理・国土保全局 編)より

江戸川から望む都心

ラグビーW杯を支えた総合治水対策と遊水地。

台風19号の被害を抑えた鶴見川多目的遊水地

平成が終わりを告げ、新たに令和を迎えた昨年は、日本各地で自然災害に悩まされた一年でした。特に伊豆半島に上陸した「令和元年東日本台風」(以下、台風19号)は、関東甲信越から東北地方を通過し、広範囲に降った大雨が河川氾濫や道路冠水などの水害を引き起こし、全国142カ所で堤防が決壊しました。そうした状況の中で注目を集めたのが、早くから警戒水位に達しながらも全く浸水被害を出すことのなかった横浜市内等を流れる鶴見川です。しかも、台風19号が上陸した2019(令和元)年10月12日は、日本で初開催となったラグビーW杯の真っ只中。鶴見川の流域にある横浜国際総合競技場では、日本代表が予選リーグ突破をかけた対スコットランド戦を翌日に控えており、試合中止が懸念されていました。

しかし、会場周辺は試合開始直前まで浸水していたにもかかわらず、無事に開催。台風の影響を感じさせない歴史的な一戦が刻まれた裏側には、競技場を含む新横浜公園と、鶴見川の氾濫を防いだ遊水地等の治水効果がありました。

鶴見川流域が一体となって取り組む総合治水対策

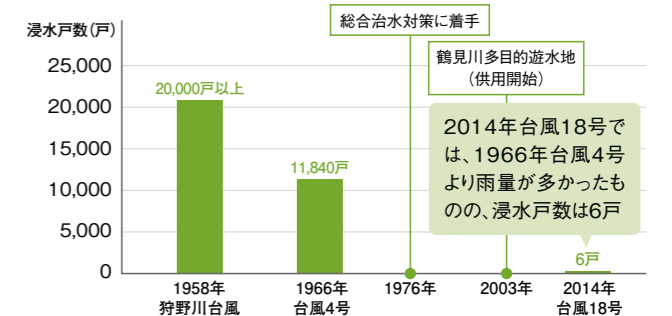
鶴見川は、東京都町田市に水源があり、神奈川県川崎市、横浜市内を流れて東京湾に注ぐ、長さ42.5キロメートル、流域面積約235平方キロメートルの一級河川で、昔から洪水が起きやすい「暴れ川」として知られていました。戦後から高度経済成長期にかけて、1949(昭和24)年のキティ台風、1952(昭和27)年のダイナ台風、1958(昭和33)年の狩野川台風などによって、たびたび氾濫による水害に見舞わ

れてきました。水害の多い要因としては、蛇行が激しく勾配が少ない地形と、急速に進んだ流域の市街地化が挙げられます。また時代とともに森や田畑が住宅や道路になり、道路が舗装され、地面が土からコンクリートやアスファルトに変わったことで、雨水が地中に浸透せず短時間で河川へ流出するため氾濫が起きやすくなったのです。通常、河川の氾濫を防止するためには築堤や川幅の拡張などの河川対策を行いますが、急速に市街地化が進んだ鶴見川流域は、河川対策が困難な状況でした。そこで事態を重く見た建設省(現:国土交通省)は、1980(昭和55)年に、関連する東京都、神奈川県、川崎市、町田市などで鶴見川流域総合治水対策協議会を組織し、自治体の枠組みを越えた協議をスタートさせました。河川の改修や下水道・遊水地・雨水調整池の整備など、鶴見川流域が一体となった「総合治水対策」が全国に先駆けて実施されることとなり、現在は「鶴見川流域水マスタープラン(水マス)」が策定され、進められています。

■ 鶴見川流域マップ



■ 総合治水対策後の浸水被害の変化 (国土交通省関東地方整備局ホームページより)



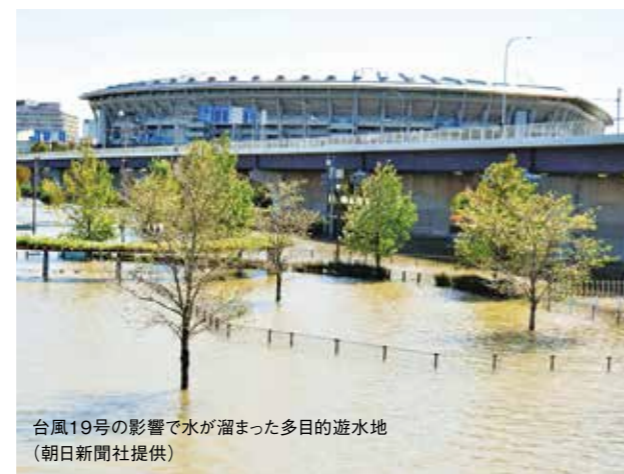
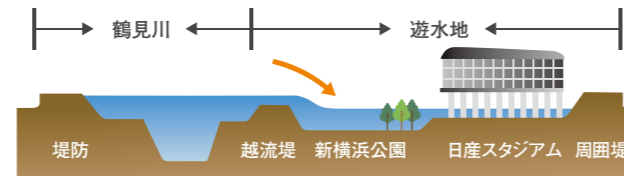
台風の翌日にラグビーW杯が開催できた理由

「総合治水対策」の一環として進められたのが、大雨の際に増水した水を一時的に貯める「遊水地」の整備です。1980(昭和55)年に、鶴見川が鳥山川と合流する付近を多目的遊水地とする計画が立てられ、用地買収や住民などの同意を経て、1994(平成6)年に造成工事が始まり、2003(平成15)年に「鶴見川多目的遊水地」の運用を開始しました。

鶴見川多目的遊水地は、面積84ヘクタール、計画貯水容量390万立方メートルの大規模な遊水地で、敷地内には横浜国際総合競技場(日産スタジアム)、野球場、テニスコート、駐車場などが揃う、横浜市最大の都市型運動公園です。鶴見川の増水にあわせて、一部が低くなった堤防(越流堤)から河川の水を遊水地に流入させることで鶴見川の水位を下げ、洪水被害を防いでいます。横浜国際総合競技場は、1,000本以上の柱に支えられた人工基盤の上に立つ高床式のスタジアムで、3階がフィールド、4階より上が客席で1階が駐車場になっています。これは、スタジアムのある新横浜公園が鶴見川の流水を一時的に貯めた場合、1階の駐車場が浸水しても、2階に相当する高架式通路の会場ゲートを遊水地以外の道路と結ぶことで、出入りに支障をきたさない構造にするためです。台風19号では、鶴見川の水位が上がり、遊水地への流入が12日午前8時50分頃から13日午前0時10分頃まで続き、貯留量は約94万立方メートル

ルに達しました。13日の午前1時20分頃には、鶴見川の水位が下がったため排水門より排水を開始し、駐車場の水が引くと清掃・消毒を行い、夕方には1階の駐車場も使用できる状態となったため利用が認められました。新横浜公園の敷地が、洪水から街を守るための安全・安心の装置として機能し、街を守っているのです。

■ 多目的遊水地のしくみ



日本の中枢を洪水の恐怖から護るために。

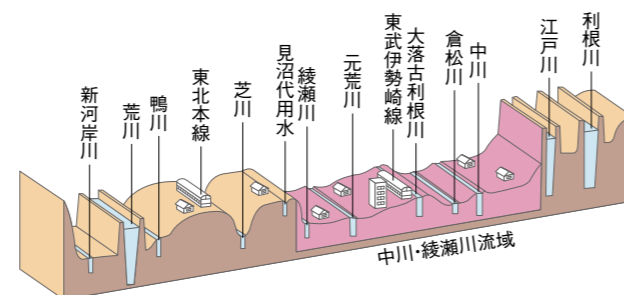
首都圏を護る世界最大級の地下放水路

鶴見川多目的遊水地と同じく、日本の中枢である首都圏を台風19号による被害から守ったのが、埼玉県春日部市上金崎から小湊までの約6.3キロメートルを流れる、世界最大級の「首都圏外郭放水路」です。

首都圏外郭放水路は、国道16号直下約50メートルに位置し、中川、倉松川、大落古利根川などの中小河川に氾濫の恐れがある場合に、それらの川から取り込んだ水を、排水ポンプを使って、より川幅の広い江戸川に流す仕組みになっています。中川・綾瀬川流域は、利根川や江戸川、荒川といった大きな川に囲まれており、土地が低く、水が溜まりやすい地形に加え、近年の急激な都市化によって雨水が一気に川に流れ込み洪水が発生しやすくなっていました。この地域を洪水から守るため、水害に強い街づくりを目指す「中川・綾瀬川総合治水対策」が施行されたことにより、首都圏外

郭放水路の建造が進められました。1993(平成5)年の着工から13年の月日をかけ、2006(平成18)年に首都圏外郭放水路の全面的な供用が開始されると、周辺地域で浸水する家屋の戸数や面積は大幅に減り、長年洪水に悩まされてきた流域の被害は大きく軽減されました。

■ 中川・綾瀬川流域の地形



洪水被害を回避する首都圏外郭放水路の仕組みと効果

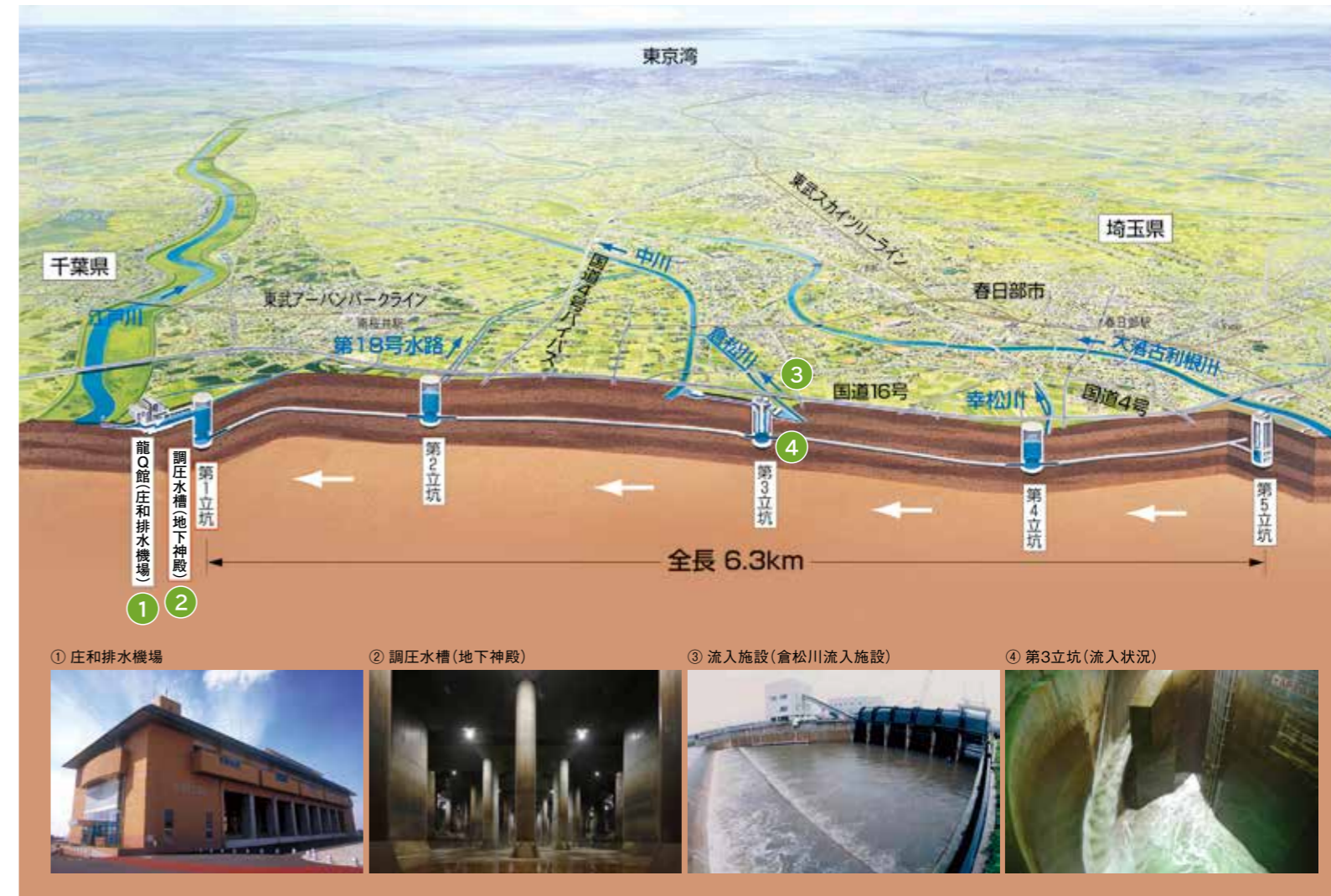
首都圏外郭放水路は、各河川から洪水を取り入れる「流入施設」と「立坑」、水を流す地下河川の「トンネル」、地下空間で水の勢いを弱めスムーズな流れを確保する「調圧水槽」、さらに地下から水を排出する「排水機場」などで構成されています。中でも59本の巨大な柱が並ぶ調圧水槽は、その荘厳な雰囲気から「地下神殿」とも呼ばれ人気を集めています。洪水時の首都圏外郭放水路の動作は、まず近隣の河川が増水すると堤防に設けられた「越流堤」の高さを超えた分の水が流入施設に流れ込み、立坑に水が取り込まれます。立坑は、第1立坑から第5立坑まで全部で5本あり、各立坑の深さは約70メートル、第2~4立坑の内径は約30メートルもあり、その深さはスペースシャトルや自由の女神がすっぽり入ってしまうほどの大きさのため、一度に大量の水の流入に対応できます。立坑は地下のトンネルでつながっていて、流れ込んだ水はトンネルを通過して江戸川近くの第1立坑へと運ばれ、トンネルと立坑がいっぱいになるとあふれ

た水は調圧水槽へ流れ込みます。調圧水槽に貯められた水は、庄和排水機場の地下にある4台の巨大ポンプで江戸川に排水されます。

台風19号の際も首都圏外郭放水路は活躍し、10月12日の午後6時頃には利根川水系の中川や倉松川、幸松川の水を集め、すべての立坑に水の流入が開始されました。このように、全立坑が同時に稼働する事態は極めてまれなことです。15日までに江戸川に排出した水は、50メートルプール7,600杯相当の約1,150万トンに上っています。他にも栃木、埼玉、群馬、茨城の4県にまたがる日本最大の遊水地(調節池)「渡良瀬遊水地」や「荒川第1調整池」でも総貯留量の9割以上が流入し、同年10月に試験湛水を始めたばかりだったハツ場ダムもほぼ満水となりました。都内では、28カ所の調整池のうち21カ所が稼働し、多くの防災施設によって、首都圏の多くが水没を免れました。首都圏外郭放水路の完全通水から2019(令和元)年10月までの12年間で、1,271億円*の浸水被害軽減効果が発揮されています。

*江戸川河川事務所ホームページより

■ 首都圏外郭放水路 全体イメージ



一人ひとりが、災害を考え備える時代へ。

都市浸水を引き起こす「内水氾濫」

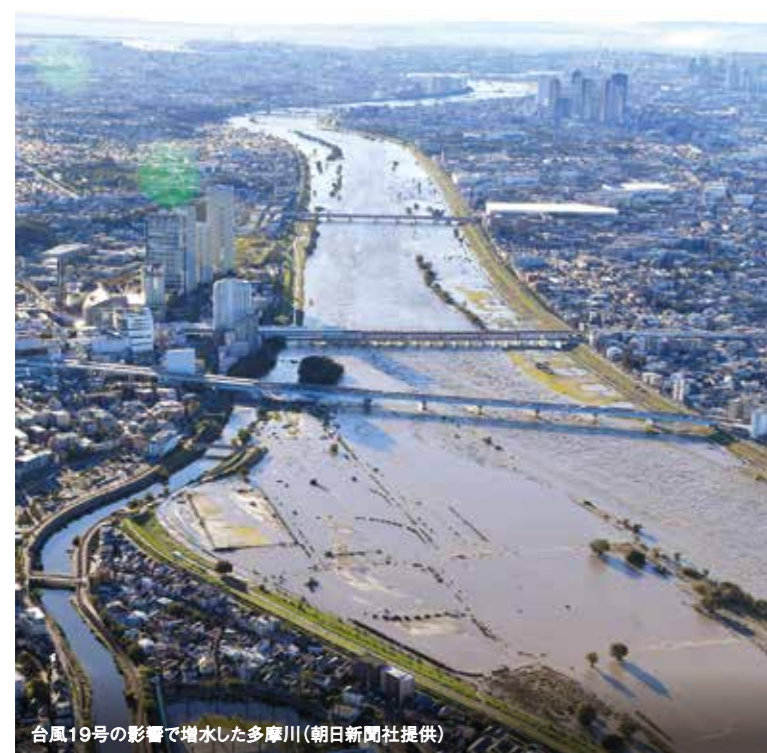
台風19号による被害は、長野県千曲川の堤防決壊をはじめ、甚大な被害の多くが河川の氾濫によるものでした。しかしその一方で、多摩川流域にある神奈川県武蔵小杉駅周辺では、多くの浸水被害が出ましたが、これは多摩川の堤防が決壊したために起きたのではなく、「内水氾濫」が起きていたことによります。

そもそも洪水には、河川の堤防が決壊したり、あふれたりすることで発生する「外水氾濫」とは別に、一度に大量の雨が降ったことで排水路や下水管の雨水処理能力を超えた場合などに市街地に水があふれ出す「内水氾濫」があります。特に都市部は、道路がコンクリートで覆われているため雨水が地面に浸透しにくく、近年多発している「ゲリラ豪雨」のように局所的な大雨になると、内水氾濫が発生します。今回被害にあった武蔵小杉駅一帯では、雨水と下水を一緒に下水管に流す「合流式」が採用されていたため、マンホールから大量の汚水があふれ、さらに被害がひどくなりました。また、駅近くのタワーマンションでは、地下の電気系統設備への浸水によって停電と断水が発生し、エレベーターが使用できないという事態を引き起こしました。これは、川の水が雨水や汚水を多摩川に流す排水管を逆流したためと見られており、つまり浸水は、「外」からではなく「内」から起こっていたのです。

大切な命を守るための行動を知る

各地域で治水対策が積極的に進められる一方で、たび重なる異常気象によって毎年のように水害が生まれています。川沿いに暮らす人だけでなく、すべての人にさまざまな被災の可能性があり、国民一人ひとりが防災への備えと意識を持つことが必要とされています。自分の暮らす地域のハザードマップや避難場所・避難経路といった基本情報に加えて、さまざまな災害対策などの情報や知識を日頃から持っていることが、もしもの際に役立ちます。例えば、国土交通省のホームページでは「家庭での被災想定」をイラストで紹介していたり、自衛隊が開発した「LIFEHACKチャンネル」では災害時のノウハウを動画で紹介しています。また、東京オリンピック・パラリンピックに向け、さまざまな防災に関する情報ツールを一元化した「防災ポータル」(P.7参照)が開設されるなど、これまでの数々の水害の経験をもとに、私たちが自分自身で身を守るために有効な情報が発信されています。

数年前から、「命を守る行動をとってください」というフレーズが頻繁にメディアから流れるようになりました。私たちが、否応なしに襲ってくる自然災害から自分や家族の命を守るためには、自分で判断し自分で行動を起こさなければいけません。想像を超えた出来事が起きる時代だからこそ、最大限の想定をもとに正しい理解と備えを深め、万全な“心の準備”が必要なのではないのでしょうか。



台風19号の影響で増水した多摩川(朝日新聞社提供)

■ 家庭での被災想定(国土交通省ホームページより)

リビングの被災想定

- 壁内にある断熱材やフローのウレタンが吸水し、おびや膨張が原因で発生する。
- 電気製品、エアコンの室外機は洪水により故障する。

洗面所・トイレの被災想定

- 洗面所・トイレともに、排水が逆流した場合、排水できないお水が引かずに使えなくなる。
- お水が引かなくても、臭いなどの被害が残り排水管が詰まる。

[写真提供・資料提供]

- 国土交通省関東地方整備局 京浜河川事務所
- 国土交通省関東地方整備局 江戸川河川事務所

[参考資料]

- 水害列島(土屋 信行 著/株式会社 文藝春秋 発行)
- 2020年 保存版 大水害「安全対策」完全ガイドブック(別冊宝島編集部 編著/株式会社 宝島社 発行)
- 水害レポート2019(国土交通省 水管理・国土保全局 編)
- 首都圏外郭放水路 パンフレット(国土交通省関東地方整備局 江戸川河川事務所 発行)
- 京浜河川事務所ホームページ



防災対策の決定版! 役立つ150サイトを一つにした「Disaster Prevention Portal/防災ポータル」

国土交通省が開設した「防災ポータル」は、東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催を前に、会場を訪れた国内外の人々が容易に防災情報を入手できるように国土交通省および各関係機関の情報ツールを一つに集約したポータルサイトです。災害対策・対応に役立つ150のサイトを、「日頃から知ってほしい情報」「災害時、見てほしい情報」「旅のお供!お役立ち情報」などのカテゴリーに分け、わかりやすく発信しています。ぜひ、一度チェックしてみましょう!



Disaster Prevention Portal/防災ポータル

<https://www.mlit.go.jp/river/bousai/olympic/index.html>



CHECK!!

英語、中文(簡体・繁体)、韓国語にも対応!

必要な情報が見つかる3つのカテゴリーを用意!

災害別での情報を見ることも可能!

観光客向けの無料Wi-Fiや宿泊施設情報なども充実!



14年ぶりの浄化槽法改正により、 合併浄化槽への転換と浄化槽管理の強化を促進。

依然として約400万基も残存する単独浄化槽

2020(令和2)年2月に、2018(平成30)年度における浄化槽設置状況および法定検査受検状況等が公表されました。浄化槽は、1983(昭和58)年に浄化槽法が制定されて以降、社会状況に合わせて2000(平成12)年、2005(平成17)年の2回の改正を経て、生活環境の保全および公衆衛生の向上を目的として整備が進められてきました。し尿のみを処理する単独浄化槽は、2000年の浄化槽法改正により新設が原則禁止されましたが、以下(資料①)のとおり、現在も400万基近い数が残存しており、全体の設置浄化槽数の約50%が単独浄化槽であることがわかります。また、これらの単独浄化槽の中には、設置後40年以上経過しているものもあり、破損や漏水などによって、し尿も適切に処理されていない浄化槽が存在している可能性があると考えられています。

合併浄化槽への転換を推し進める新たな法改正

こうした状況の中、2019(令和元)年6月に、14年ぶりとなる浄化槽法の一部を改正する法律が公布、2020年4月に施行されました。今回の法改正の大きなポイントは、「合併浄化槽へ

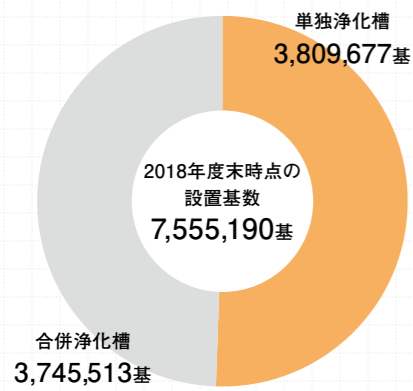
の転換促進の措置」と「浄化槽管理の強化」の2つです。

「合併浄化槽への転換促進の措置」では、補修や交換の緊急性が高い単独浄化槽を「特定既存単独浄化槽」と定義し、それぞれの都道府県知事が、それに対し除却や適正措置をとるよう助言または指導ができるようになり、従わない場合は勧告や命令を発することも可能となりました。

次に「浄化槽管理の強化」として、都道府県知事に対して浄化槽に関する台帳を作成し、保管することが義務付けられました。浄化槽法第11条に定められている、年に1回の指定検査機関による定期検査(11条検査)の2018年度における受検率はわずか43.1%(合併浄化槽のみでは61.4%)^{*}。多くの浄化槽では適切な維持・管理が行われていないという結果が出ています。そこで、都道府県知事に対して浄化槽の設置状況に関する台帳の作成・保管を義務付けることで、11条検査を実施していない浄化槽を行政が確実に把握し、指導の強化が図られることを目指しています。こうした法改正に伴う取り組みによって、さらなる単独浄化槽から合併浄化槽への転換に向け、大きな前進が期待されています。

^{*}環境省「平成30年度における浄化槽の設置状況等について(2020年2月20日発表)参考資料1より

■ 資料①: 浄化槽の設置基数



環境省「平成30年度における浄化槽の設置状況等について」より作成

■ 資料②: 浄化槽法の制定と改正のポイント

年	改正回数	主な内容
1983(昭和58)年	浄化槽法制定	<ul style="list-style-type: none"> 浄化槽の製造に関する新基準の設定(浄化槽型式認定制度) 浄化槽の設置または管理する者の義務事項を明確化 浄化槽に関する資格制度の設定
2000(平成12)年	1回目の改正	<ul style="list-style-type: none"> 単独浄化槽の新設が原則禁止に
2005(平成17)年	2回目の改正	<ul style="list-style-type: none"> 公共用水域等の水質保全の設定 浄化槽放流水の水質基準を設定 浄化槽法定検査結果の行政への報告、未受検者への指導を強化 廃止手続きの創設
2019(令和元)年	3回目の改正	<ul style="list-style-type: none"> 「特定既存単独浄化槽」に対する措置 浄化槽台帳の整備 「公共浄化槽」の設置 浄化槽管理士に対する研修機会の確保 など

Webサービス より使いやすく、見やすいサイトへ フジクリーンのウェブサイトがリニューアル!

フジクリーンのウェブサイト、2020年6月より全面リニューアルいたしました。今回のリニューアルでは、より使いやすく、よりわかりやすいウェブサイトを目指し、構成やデザインを一新。またスマートフォンやタブレット端末からも快適にご利用いただけるレスポンシブデザインとなっております。これからも内容の充実を図り、ご利用いただく皆様のお役に立てるウェブサイトの提供を心がけて参ります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

なお、リニューアルに伴い、URLが変更となっているページがございます。ブラウザの「お気に入り」などに登録されている場合は、新しいURLへの登録変更をお願いいたします。

フジクリーンウェブサイトはこちら
<https://www.fujiclean.co.jp>



コンテンツがさらに充実!!

1
小型浄化槽新旧一覧

浄化槽マンホール蓋のサイズや枚数、汚泥引き抜き量をご確認いただくこともできます。

2
浄化槽Topics

浄化槽や排水処理についてのいろいろなことを、わかりやすく解説します。

3
産業廃水処理ユニット納入実績

該当の業種から、納入事例一覧をダウンロードすることもできます。

Web
サービス

資料ダウンロードコンテンツで 円滑な業務をサポートします。

フジクリーンのウェブサイトにある資料ダウンロードのコンテンツでは、浄化槽の計画から施工・維持管理まで工程ごとに必要とされる書類を簡単にダウンロードすることができます。煩雑な業務を効率よく、円滑に一。ぜひ資料ダウンロードコンテンツをご活用ください。



■ 処理対象人員算定シミュレーター

浄化槽の人槽算定が簡単に行える「処理対象人員算定シミュレーター」もあわせてご活用ください。

<https://www.fujiclean.co.jp/simulation/index.html>



ダウンロードコンテンツ ウェブサイト

<https://www.fujiclean.co.jp/material/index.html>



… ダウンロード可能なデータ

■ 申請をする

該当浄化槽をクリックすると、申請に必要な認定書類一式がダウンロードできます。

浄化槽認定書、登録証、ABC 管理票



■ 設計・施工をする

施工に必要な浄化槽の標準図面 (CAD・PDF) や施工要領書などがダウンロードできます。

浄化槽施工図面 (施工寸法や機器類仕様がわかります)
浄化槽施工要領書

■ 維持管理をする

プロワの情報や現行製品、製造が終了した旧製品の維持管理関連書類がダウンロードできます。

浄化槽維持管理要領書および維持管理Q&A
プロワ補修部品リスト (パーツの発注用として)

■ カタログを見る

多種多様な製品のカタログやリーフレットが、PDFでダウンロードできます。

フジクリーンカタログ・リーフレット

■ 更新情報

更新日時とともに、更新情報が一覧できます。

会員
サービス

フジクリーン維持管理ネットワーク 新規会員募集中 [参加無料]

フジクリーンでは、製品の品質向上とより良いサービスの実現を目指して、維持管理会社様との情報伝達を密にする維持管理ネットワークを拡充しています。ご登録いただくと、維持管理に役立つ情報や新製品の詳細情報を配信いたします。また、講習会や情報交換会の開催もご案内いたします。詳しくは、お近くの営業担当にお問い合わせいただくか、弊社ウェブサイトよりご登録ください。

維持管理ネットワーク ウェブサイト

<https://www.fujiclean.co.jp/about/maintenance/>



1 維持管理や新製品など、 役立つ情報を定期的に配信！

近年の浄化槽は機種によって、構造や維持管理方法に違いがあります。機種に応じた適切な維持管理方法や浄化槽・プロワの普段の維持管理の現場で役立つ情報をお届けします。

2 維持管理上のご相談を承ります

維持管理上のお悩みがありましたら、お気軽に最寄りの弊社営業担当にご相談ください。早期解決によりお施主様とのトラブルが未然に防げます。

3 定期的に講習会なども開催します

近隣地域で開催する講習会をご案内いたします。講習会・情報交換会・工場見学などにも随時対応いたします。



維持管理ページ



現場講習会の様子

新型コロナウイルス感染症に対する弊社対応について

新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた方々、ご家族の皆様には謹んでお悔やみを申し上げますとともに、罹患された方々には心よりお見舞い申し上げます。

弊社では、政府の緊急事態宣言を受け、在宅勤務や時差出勤などを活用しながら事業活動を継続してまいりました。お客様や関係者の皆様には、多大なご協力を賜りましたことを心より感謝申し上げます。

弊社では、今後もお客様や関係者の皆様、従業員の安全確保を優先しつつ、お客様のお役に立てるよう努めて参ります。何卒ご理解とご協力のほどお願い申し上げます。

もっと
motto!
広げよう

水環境をきれいに
する取り組み

〈岐阜県恵那市〉
岐阜県立
恵那農業高等学校



農業高校ならではの発想でダム湖をきれいに! クウシンサイ 空心菜の水耕栽培を利用した水質保全活動。



毎年6月に、96個のコンテナでつくった浮島に
1,200株の苗を植えてダム湖に浮かべます

空心菜は長く根を伸ばし、
ダム湖の栄養分を吸収し大きく成長します

岐阜県南東部に位置し、大井ダム、阿木川ダムなど多くのダムを有する恵那市。美しいダムの湖景で知られる恵那峡の近くにある岐阜県立恵那農業高等学校では、中国野菜の「空心菜」を用いた水質浄化の取り組みが行われています。この活動は、2002～03(平成14～15)年に2年続けて阿木川ダム湖で大量の「アオコ」が発生したことをきっかけに始まりました。空心菜の水中のリンや窒素を吸収する機能に注目した環境科学科の先生と生徒が、空心菜を栽培することでダム湖の栄養分を吸収し水質を改善させることを考案。ダム湖にポリエチレン製の浮島を作り、そこに校内のビニールハウスで育てた苗を移植して水耕栽培を行いました。年に2～3回行われる収穫作業や移植作業は、恵那市職員や阿木川ダム管理所など、地域の方々と協力して進めています。

2004(平成16)年から始まったこの活動は、15年以上経った現在も、1年生が播種して育てた空心菜の苗を3年生が移植するというように、学年を越えた学

科全体の取り組みとして行われています。これまでの水耕栽培株数は、13,000株にも上り、約150,000立方メートルの水を浄化したこととなります。さらにここで育った空心菜は、ダム湖横の売店で販売し、地元の人々にレシピ集を配布するなど、地域に向けた水質保全意識の向上にも役立っています。

栽培方法が確立された近年は、より簡単に水質浄化実験ができる「ペットボトル浮島」を考案。日本全国から多数の問い合わせがあり、2010(平成22)年には名古屋市内を流れる堀川で空心菜による水質浄化実験を、2011(平成23)年には仙台市の東日本大震災の津波被災地で海水が入った農地での栽培を行いました。また、空心菜は成長が旺盛であることから、カンボジアで栽培方法の指導を行うなど、活動の幅は年々広がっています。こうした取り組みが評価され、2019(令和元)年「国土交通大臣表彰(水資源功績者表彰)」を受賞。空心菜栽培のノウハウは、しっかり後輩へと受け継がれ、さらに進化を続けています。

美しい水を守る
フジクリーン工業株式会社

本社 名古屋市千種区今池四丁目1番4号 〒464-0850 TEL(052)733-0325 <https://www.fujiclean.co.jp>

札幌支店 (011)738-5075	茨城営業所 (029)839-2271	岐阜営業所 (058)274-1011	佐賀営業所 (0952)31-9151
東北支店 (022)212-3339	宇都宮営業所 (028)625-4650	静岡営業所 (054)286-4145	熊本営業所 (096)388-3571
東京支店 (03)3288-4511	群馬営業所 (027)327-5611	四日市営業所 (059)350-0788	大分営業所 (097)558-5135
名古屋支店 (052)733-0250	埼玉営業所 (048)620-1424	和歌山営業所 (073)422-3634	宮崎営業所 (0985)32-3064
大阪支店 (06)6396-6166	千葉営業所 (043)206-5171	広島営業所 (082)843-3315	鹿児島営業所 (099)257-3501
福岡支店 (092)441-0222	新潟営業所 (025)271-8668	高松営業所 (087)869-8680	沖縄営業所 (098)862-9533
盛岡営業所 (019)604-2527	山梨営業所 (055)275-9300	松山営業所 (089)967-6123	
郡山営業所 (024)937-0800	松本営業所 (0263)27-2080	高知営業所 (088)803-1520	



発行 2020年7月1日
フジクリーン工業株式会社「水の話」編集室